

## 平成18年度第2回国立大学法人宮崎大学経営協議会議事要旨

日 時：平成18年10月30日（月） 14:30～16:30

場 所：宮崎大学大会議室（事務局棟4階）

出席者 本 学：住吉学長、名和理事、碓理事、江藤理事、大谷理事  
学外委員：笹山委員、佐藤委員、秦委員、山崎委員（欠席：田崎委員）

オブザーバー：岩切監事、木下監事、水光副学長、谷本副学長

列席者 山根財務部長、奥村施設環境部長、関学務部長、金城学術研究協力部長、  
朝役員秘書室長、羽室企画課長、上原人事課長、大園評価課長、森山企画管理課長  
外

### 前回議事要旨の確認

学長から、前回議事要旨（案）【資料1】により確認があり、原案どおり承認された。

### 議事

#### 1. 平成19年度大学機関別認証評価の受審について

学長から、学校教育法に基づいて7年毎に文部科学大臣の認証を受けた評価機関による評価を受審することが定められており、また、第1期中期目標・計画の実現に向けて、本件の外部評価を活かしたいと考えていることから、平成19年度に認証評価を受審したい旨の説明があった。

続いて水光副学長から、認証評価の基本的な観点毎の検証結果及び改善を要する点について【資料2】により説明があり、審議の結果、問題点等を改善の上受審するという事で承認された。

#### 2. 教育研究組織等の自己点検・評価及び外部評価の実施について

水光副学長から、本学の中期目標・計画の平成18年度の年度計画にうたわれている教育研究組織等の自己点検・評価書を作成し、これに基づき外部評価を受けるものである旨【資料3-1・2】により説明があり、また学長から、この結果を大学の組織の改善、資源の配分に活かしていきたいとのことであった。

続けて、水光副学長から教官の個人評価について【資料3-3】により、人事課長から事務系職員の人事評価について【資料3-4】により、それぞれ概要の説明があった。

なお、山崎委員から「総合評価の評点区分」について、絶対評価なのか相対評価なのかということもあるが、ポイント制だけでは評価は難しく（差がつかない）、プラスの何らかの評価をした方がよいのではないかの発言があり、学長から、特記事項についてはいくつかの項目を設けて記入する方法で実施する等、参考にさせていただきたいとのことで、このことを含めて審議の結果、承認された。

#### 3. 役員の平成18年12月期末手当について

学長から、職責に照らして職務に尽力している理事について、宮崎大学役員俸給規則第14条第3項の規程に基づき期末手当を増額したい旨の提案があり、審議の結果、承認された。

### 報告事項

#### 1. 平成17年度決算の承認について

財務部長から、平成17事業年度財務諸表等について8月31日に文部科学大臣による承認が得られた旨、また剰余金（当期総利益）の発生要因について【資料4】により説明があり、本学ホームページにより掲載し公表した旨の報告があった。

また、大谷理事から、資金を伴う利益の要因については、ほとんどが病院再整備計画の借入返済金のための担保、人件費削減のための退職者不補充、欠員不補充によるものであり、その他経営努力による経費節減等が若干含まれている旨補足説明があった。

## 2．平成19年度概算要求の状況について

財務部長から、平成19年度要求額（収入・支出）として、文部科学省から財務省に提出された本学の概算要求の状況について【資料5】により報告があった。

また、学長から、運営費交付金であり競争的資金である「特別教育研究経費」は、年々増加している旨、「農学工学総合研究科」の大学院設置について、現在、大学設置審査会による審査中である旨、また来年度から制度創設予定である「教職大学院」についても、現在、設置に向けて学内で鋭意検討中である旨の報告があった。

続いて、谷本副学長から「教職大学院」の設置について、他大学の検討状況について補足説明があった。

## 3．平成18年度人件費の推計について

財務部長から、現時点の人件費推計の概要について【資料6】により報告があった。

また、本件については、今後定期的に見直しを行うとともに、国の施策等による人件費の取扱いの変更等にもその都度対応し、方向性を検討していく必要がある旨説明があった。

## 4．人事院勧告について

人事課長から、人事院から国会及び内閣に対し、公務員給与改定の勧告が行われた概要について【資料7】により報告があった。

## 5．平成17年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

水光副学長から、国立大学法人評価委員会から通知のあった「国立大学法人宮崎大学の平成17年度に係る業務の実績に関する評価結果」について【資料8-1.2】【席上配布資料】により、他大学等の改革推進状況について【資料8-4】により報告があった。

また、学長から、全体の評価としては、ほとんど特別な意見もなくクリアしている。ただし、1つだけ指摘されているのは、大学院博士課程の学生収容定員の充足率が十分ではないとされており、速やかに適正化に努める必要があると言われていた。また、来年度からは充足率の達成基準が90%と厳しくなることになっており、それをクリアすべく努力しているところであるとのことであった。

## 6．平成18年度「国公立大学を通じた大学教育改革支援プログラム」の採択状況について

碓理事から、平成18年度採択の「国公立大学を通じた大学教育改革支援プログラム」について【資料9】により報告があった。

## 7．宮崎大学特許出願状況について

学術研究協力部長から、本年度4月から9月末までの発明届出への対応状況等について、【資料10】により報告があった。

## 8．科学研究費補助金及び外部資金（受託研究・共同研究・寄附金）受入状況について

学術研究協力部長から、科学研究費補助金及び外部資金の過去5年間の受入状況の推移について、【資料11】により報告があった。

9. 平成18年度「とっても元気！宮大チャレンジ・プログラム」の選考結果について学務部長から、「とっても元気！宮大チャレンジ・プログラム」の学生支援事業について、【資料12】により報告があった。

その他

1. 自由討議  
種々意見交換が行われた。

次回経営協議会の開催について

次回の経営協議会については、今後の議題等を整理し、日程調整の上、1月頃を目途に開催することとした。